

本気の「挑戦」を始めよう！

約1か月間の夏休みが終わりました。この夏休みは、生徒の皆さんにとって「挑戦」の夏休みとなったのでしょうか。そして、夏休み前の自分と比べ、成長した実感をもって今日を迎えることができたのでしょうか。

さて、今日から学校が再開し、仲間とともに学び、活動する学校生活に戻りました。目前に迫った前期期末テスト、その後に行われる大空祭と、力を入れるべき取組が続きます。それらに向けた一人一人の新たな「挑戦」が、すでに始まっています。

一読の価値あり！ 勉強に悩む中学生にオススメの本

前期期末テストを1週間後に控え、多くの生徒はテスト勉強もラストスパートに入っていると思います。その一方で、なかなか勉強に乗り切れない生徒もいるかもしれません。

「やらなければいけないことは分かっているけど、なかなかできない」という人に、自分から1冊の本を紹介します。

第2章「勉強するのはなんのため？」より

やる気は後からついてくることもあるって、知っていますか？

やる気があることは、一生懸命やれますよね。意欲的ががんばれる。だけど、「全然やる気が出ない」というときも、やっていると脳がその刺激を喜んで、だんだんやる気が出てくるんです。

脳にはそういうメカニズムがあります。

やる気が先にあるのではなくて、やっているうちにやる気のスイッチが入るんです。

「やらなきゃいけないからやる！」「やる気を迎えに行く！」 こんな手もありなのです。

本当の「頭のよさ」ってなんだろう？ 勉強と人生に役立つ、一生使えるものの考え方

明治大学文学部教授の齋藤孝さんの著書（発行：誠文堂新光社）で、平易な言葉で書かれているのであつという間に読める本です。この本は、全部で8つの章から構成されています。

- 第1章 本当の「頭のよさ」ってなんだろう？
- 第2章 勉強するのはなんのため？
- 第3章 学校に行く意味ってなに？
- 第4章 受験にはどんな戦術で立ち向かうか？
- 第5章 本とどうつきあうか？
- 第6章 「好きなこと」への没頭体験、ありますか？
- 第7章 青春は不機嫌でいてもいいと思ってる？
- 第8章 生きていくってどういうこと？



テレビでもおなじみの
齋藤 孝 明治大学教授

受験勉強を含めたこれから先の勉強に対するモチベーションを高めたり、勉強や日々の生活に行き詰まった時に考え方を切り替えたりするのに役に立つ本です。

校長室にあるので、借りたい人はどうぞ。

大空祭は、感染防止対策を講じて有観客で！

この夏の東京オリンピックとは異なり、9月18日（土）に予定されている大空祭は「有観客」で実施します。感染防止対策として、マスク着用やアルコール手指消毒、声を出しての応援の自粛などをお願いした上で、参観可能とします。（※）

新型コロナウイルスは感染拡大の傾向にあり、現状ではまだ収束が見通せない状況です。しかし、対策をしっかりと講じて安全・安心を確保し、生徒の頑張る姿を保護者・地域の皆様にもお届けすることで、「教育活動の充実」や「『地域とともにある学校』づくりの推進」に努めていきたいと思います。

※ 今後の感染拡大状況により変更する場合があります。予めご了承ください。



R2大空祭での生徒の様子

大形中学校 校長室だより
夢・希望・未来

令和3年8月26日

第10号